

下呂温泉が日本版DMOをリード

特別インタビュー

～観光マーケティング・下呂温泉DMO事業・広域連携～



滝 康洋氏
(一社)下呂温泉観光協会 会長

2011年から観光マーケティングを実践し、観光客と宿泊客がアップしている下呂温泉(岐阜県下呂市)。昨年度は国が進める日本版DMO候補法人に選定され、従来の下呂温泉観光協会の観光戦略(シナジー)効果を発揮した。滝康洋、下呂温泉観光協会会長が今年度の状況を聞いた。

今年度の宿泊客の状況は、8月末時点で前年より約1500人増え、7月と8月については前年より8千人以上増えた。9月以降も前年を越えていく見込みである。今年度は4月16日からは前年より少ない状況で、この傾向は昨年同期から続いている。観光協会の聞き取り調査などでは、昨年は全国的に自然災害が多く、同時に復興や風評払拭を目的とした事業や大型キャンペーンが展開されたことが低調の要因と分析している。

「マイナスイメージが多かった」という理由が、観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。

観光客の増加は、観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。

観光客の増加は、観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。

日本版DMOの成功モデルを目指す E—DMOは全体構想の認定と商品化

観光客の増加は、観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。



下呂を代表するエコツーリズムポイントの小坂の滝

観光客の増加は、観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。観光協会の取り組みが、観光客の増加に繋がった。



台中市温泉観光協会、僑城観光振興協議会との三地域温泉地友好交流提携を締結



DMO事業ですぐに成果が現れた新スイーツ



DMOの事業で配信が始まったオフラインアプリ

世界一の花火師による 下呂温泉の花火

世界が世界一になった。下呂温泉では、夏の下呂温泉まつりをはじめ、クリスマスのある12月、冬には花火イベント、春にはクラフツリズムと共催の夜桜花火が開催される。とくに下呂温泉花火ミュージカルは、コンピュータを駆使した特殊演出花火。最新のヒット曲や往年の名曲など、さまざまな音楽に合わせて華麗に打ちあがる音楽と光のライオンショーとなっている。

★冬の下呂温泉花火物語
12月の各土曜日(24日はクリスマス特別公演)。※31日は除、冬の澄み切った夜空に、音楽に併せて華麗に花火が舞い踊る。20時～約15分間。クリスマス特別公演は約30分間。

★2018年1月3日の毎土曜日。新春、節分、パレンドン、合格祈願など、毎週テーマに併せた演出あり(音楽なし)。※予告なく変更中止となる場合がある。

第6回世界花火師競技会で、下呂温泉の花火イベントを担当する

(問) (一社)下呂温泉観光協会 TEL:0576-24-1000

7ク満く! 体験プログラム

下呂温泉観光協会ホームページ: <https://www.gero-spa.com/>

温泉でコンベンション

下呂温泉を中心とする下呂市内には、全体で約1万人の収容能力を持つ宿泊施設を有し、本格的なMICE(ミーティング・インセンティブ・コンベンション・イベント)の受け入れを行っている。メイン施設である「下呂交流会館」は、本格的なアリーナ(体育館)とコンサートホールが併設する複合施設。オープン以来さまざまなコンサートやスポーツ大会・トークショー・寄席などが開催されており、最大で3千人規模のコンベンションが可能。本施設の利用で助成金制度を申請する団体が増えている。

※コンベンション … 大会・会議・学会・研究会・研修・合宿など。但し営利目的のコンベンション、政治団体・宗教団体またはそれに類する団体に関係しないもの。

対象となる条件
①主たる会場が下呂市内の会議施設等であり、2時間以上のコンベンションが開催される事。
②下呂市内での宿泊を伴う事。(コンベンション参加による宿泊であり宿泊施設を利用する事)
③コンベンション開催前に助成金支給の申請(別紙様式)がなされる事。

※コンベンション参加者宿泊人数は、コンベンション開催期間の単日ごとの宿泊について区分する。なお、連泊を伴うコンベンションで、単日ごとの宿泊人数が表中のコンベンション参加者宿泊人数に達しない場合は、開催コンベンション期間の総宿泊人数(延べ宿泊人数)によって区分する。

※平成29年度の助成金申請の締切は、平成29年12月末日まで。
その他、詳細については同ビュローに要問い合わせ。
■問い合わせ先 下呂市コンベンションビュロー事務局 TEL:0576-23-0070

コンベンション参加者宿泊数(単日あたり)	助成金額
15人～29人	15,000円
30人～49人	30,000円
50人～99人	50,000円
100人～199人	100,000円
200人～299人	140,000円～209,300円
300人～399人	210,000円～279,300円
400人～	280,000円～